

市立病院看護師を随時募集

採用予定人員 2名
受験資格

- ①看護師免許を有する者
※当該資格試験合格者を含む
 - ②平成27年4月1日現在の年齢が満41歳未満の者
 - ③試験当日現在、市内医療機関の正規職員でない者
- 欠格事項 受験資格にかかわらず、次のいずれかに該当する者は受験できません。
- ・日本国籍を有しない者
 - ・成年被後見人または被保佐人
 - ・禁錮刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者またはその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ・枕崎市職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過していない者
 - ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

公的医療機関発行の健康診断書を提出

試験日・場所 一定期間の応募者に対して、試験日時・場所を記載した受験票を送付します。

問合せ・申込み 枕崎市立病院管理係

〒898-0034 枕崎市日之出町230番地 TEL72-0303

※申込書は市立病院に備付けています。郵送による請求の場合は、切手(120円)

を貼った宛先明記の返信用封筒(角形2号・縦33センチ×横24センチ)を同封してください。市のホームページからもダウンロードできます。

受付期間 随時。病院での受付は平日午前8時30分から午後5時15分まで

合格発表 試験日後14日以内に、受験者全員に合格結果を文書で通知します。

採用 合格発表後の翌月1日から採用の予定です。

給与 枕崎市立病院事業企業職員の給与に関する規程に基づき支給されます。

※採用予定人員に達し次第、募集を中止することもあります。

駅舎前広場にトリックアートが完成しました

市では多くの市民の想いの詰まった駅舎の完成に合わせて、県の「魅力ある観光地づくり事業」により、駅舎前広場の整備を進めています。

平成25年度事業では、駅舎前広場の新たなスポットとして、「トリックアート・多目的広場」や「階段・スロープ」等を整備しました。

トリックアート舗装は、駅舎階段側入口から見ると、写真のように鹿児島県の地図が立体的に見える不思議な舗装で、地図に描かれた線路と白い灯台は枕崎駅が

JR最南端の始発・終着駅であることを示しています。

また作品と一緒に被写体になると、立体感がより際立ち、楽しい空間が演出される写真スポットとしてもおすすめです。

ぜひ、市民の皆さんも、トリックアートの不思議な世界を体感してみてください。

※駅舎前広場は自転車やバイクの乗り入れは禁止していますので、ご理解をお願いします。

●問合せ 水産商工課観光交流係 TEL72-1111 内線 462



桑原茂樹さんが犬牟田墓地にあずまやを寄贈

市営犬牟田墓地慰霊塔横にある「水汲み場のあずまや」は、故桑原盛蔵さんから昭和35年に寄贈されたもので、施設内の仏像が訪れる人たちを温かく見守り、市民に親しまれている施設です。しかし、設置から50年以上が経過し、老朽化が進んでいました。

今回、孫である桑原茂樹さんが、老朽化した犬牟田墓地のあずまやを改築し、市へ寄贈されました。

あずまやの寄贈に対する、感謝状贈呈式が4月4日に行われました。

桑原さんは「祖父の遺志を継いで今回改築させていただきました。お参りに来た際の憩いの場になっていただければと思います」と話していました。



枕崎駅舎がかごしま・人・まちデザイン賞を受賞

枕崎駅舎が、第1回かごしま・人・まち・デザイン賞の都市デザイン部門で優秀賞に選ばれました。

3月27日に県庁で表彰式が行われ、枕崎駅舎の所有者である枕崎市と設計者の県建築士会南薩支部、施工者の森建設が表彰を受けました。

この賞は、かごしまらしい地形や自然、歴史や文化を生かし将来の鹿児島県の模範となる都市景観や街並みの創造に寄与した施設の所有者や設計者及び施工者を対象に表彰が行われるものです。



別府小学校で「人権の花」運動開会式

4月18日、別府小学校で「人権の花」運動開会式が行われ、知覧人権擁護委員協議会枕崎地区部会の鷲山弘光会長からひまわりの花の種が送られました。

式では、児童代表の豊留莉乃さん(6年)が「別府小学校の最優秀標語『見つけよう 相手と自分の いいところ』のように相手の悪いところだけでなく、みんなそれぞれよいところがあるので、それをたくさん見つけて楽しく過ごせるように、今日から学校全体で頑張ります」と誓いの言葉を述べました。



青空美術館の作品「道標」が完成

薩摩酒造(本坊浩幸社長)が本社社有地に市民の憩いの場「出会いの広場」とモニュメント「道標」を造り、除幕式が3月30日に行われました。

「出会いの広場」には、市民に気軽に立ち寄り、おうちとベンチや池を設置。モニュメントは東京を中心に活動する彫刻家・速水史朗氏が「白波」をイメージして制作したそうです。また、このモニュメントは、青空美術館の作品のひとつとなっています。

本坊社長は「市民の庭として使っていただけたらなと思います。癒し、出会いの場として多くの市民に親しまれる場所にしたいですね」と話していました。

